

ハイレシチン

- 内容量：270 g
- 形状：粉末
- 税込価格：5800 円＋消費税

栄養成分表 (1g 中)

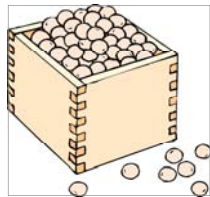
フォスファチジルコリン……………28%以上
フォスファチジルイノシトール……………25%以上
フォスファチジルエタノールアミン……………18%以上

レシチン10gは、大豆5kgに相当

ハイレシチン	10g
大豆	5kg

体の全ての細胞に必要なレシチン

レシチンは大豆や卵に多く含まれるリン脂質で、不飽和脂肪酸にリンが結合しています。体の 60 兆個の細胞を包む「細胞膜」には流動性があります。



“流動性(柔軟性)”を保つのは、膜の構成物質であるリン脂質(レシチン)の働きです。

レシチンは生命の基礎物質なのです。

レシチンは「胆汁酸」に含まれ脂肪を“乳化”させ水に溶けやすくします。従って、ビタミン E・A・D・K などの油性のビタミンの吸収を助けます。→ 油の吸収力が低下した方に最適。又、血管内壁に付着したコレステロールや、血中の中性脂肪を溶解して、血液の流れをスムーズにしてくれます。過剰なコレステロールは無害な微分子状態にする働きがあります。

細胞膜を酸化から守るには

不飽和脂肪酸を含む細胞膜は“酸化”されやすい脂質です。酸化されると「過酸化脂質(腐った油)」になり、膜を通して行われていた栄養の出し入れ、老廃物の排出などの働きが失われ、細胞は死んでしまいます。

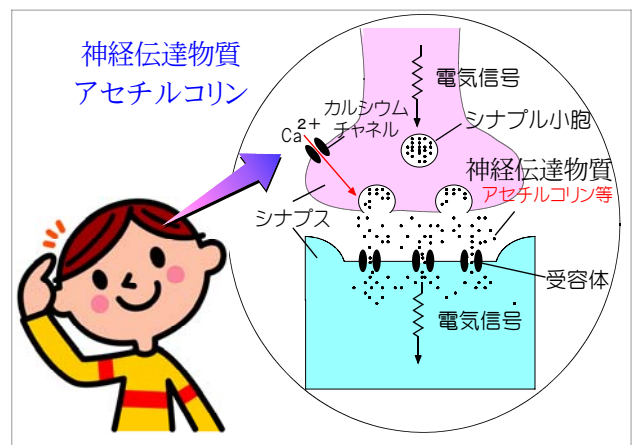
細胞膜の酸化を防ぐには、「抗酸化物質」のビタミン E、C、カテキン、レスベラトロール、カロテンなどが推薦されます。

フォスファチジル コリン

レシチンに含まれる「フォスファチジルコリン」というリン脂質は、“脳”や“肝臓”で重要な働きをしています。肝臓は通常 4～5%の脂肪を含みますが、フォスファチジルコリンが欠乏すると脂肪が増え、“脂肪肝”の状態になります。

「フォスファチジルコリン」は、肝臓への余分な脂肪の蓄積を予防し、又、脳の「神経伝達物質」である「アセチルコリン」の原料になります。認知症では「アセチルコリン」が不足します。

ヒトは加齢と共に「フォスファチジルコリン」の合成力が衰えるため、その原料であるレシチンを補給すると良いと云われています。又、「フォスファチジルコリン」の合成には、ビタミン B12＋葉酸が必要です。



“脂肪肝”では「フォスファチジルコリン」が不足しています。



「ハイレシチン」は、「フォスファチジルコリン」を 28%以上含む高品質なレシチンです。

ハイレシチンの美味しい召し上がり方

- プロテインペプチドと混ぜ牛乳か水に溶かす。
- サラダ、ヨーグルトなどに振りかける。熱を加えないでお召し上がり下さい。

15ccスプーン軽く1杯(10g)、1日1回～2回

こんな方にお勧めします

- * 中性脂肪やコレステロールが気になる方
- * アルコールが大好きな方
- * 妊娠、授乳中の女性
- * 高齢者